

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [札幌市立札幌大通高等学校] 担当教諭名 [杉山 譲司・佐藤 千恵子] (異文化理解講座 46名)
 交流相手国 [マレーシア]
 海外学校名 [Montfort Youth Centre] 担当教諭名 [中山 天志(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	英語科・異文化理解	「アートマイル・プロジェクト」	24

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Cultural Introduction: People, places and events
絵に込めたメッセージ	身近にある人、場所、ものを紹介することを相手国との交流の始まりすると同時に、自文化の発見としたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
相手国との文化による違いのみならず、共通点を発見する力②自文化への気づき③仲介となる言語(=英語)の必要性の認識④クラス内の仲間内で、そして海外の仲間と協同してものを作り上げていくために必要なコミュニケーション力。	講座の中で学んだ、他のこと(ステレオタイプ、人種問題、東西によるものの見方の相違など)との関連をもう少しもたせることができれば、交流の中で「異文化理解」という科目にさらにふさわしいテーマを協同学習できたのではないか。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
保護者や地域の方、他校にも開かれた「プレゼンテーション大会」という行事で、本プロジェクトの紹介と、参加者への壁画色塗りの協力を願った。	活動内容への理解が深まった。 また、壁画作り協力した方からは「自分の行動が海外に伝わる貴重な経験になった」との言葉をいただいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8～9月	・フォーラム、ビデオレターを利用したパートナー校との自己紹介交流	・英語を得意とする生徒もそうでない生徒も、熱心に事項紹介文を作成し、読みの練習をして、ビデオ撮りにのぞんだ。	異文化理解
情報収集	9～10月	・マレーシアについての調べ学習。自文化(学校、札幌、北海道)紹介スライドの作成。フォーラムでのお互いの文化についての質疑応答	・相手国のことについて知らなかったのは当然として、自文化紹介スライドを作成するなかで、意外と自分の学校、町についても新しい発見があった。	異文化理解
テーマ検討	11月	・スカイプでのテレビ会議やフォーラムで意見交換。 ・こちら側の絵の下書き(案)を講座別(午前、午後、夜間の3部)に作成。	・スカイプでの意見交換では、直接、英語により意思疎通ができたことに感激していた。 ・札幌以外の町の部分に何を書き込むのか苦労していた。	異文化理解
制作	12月	・行事「プレゼンテーション大会」の準備期間を利用して、3部の講座合同で開始。大会会期中には「一筆参加企画」として、他の生徒、地域の方にも絵塗りに参加してもらった。	・熱心に取り組み、行事終了後、冬季休業期間も利用して完成させた。	異文化理解
鑑賞	2～3月	・フォーラムにアップされたパートナー校での作成の様子を確認。 ・共同制作した絵の鑑賞とプロジェクト全体の振り返り。	・相手校での熱心な取り組みにも感動。 ・届いた完成品に一層感動し、また、パートナー校の色使いの美しさに目を瞠っていた。	異文化理解

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	学校、札幌、北海道の紹介スライドを作成しながらの発見が大きかった。
異文化の理解	2	⑤・4・3・2・1	交流を進めるにつれて、マレーシアのことの理解が深まり、異なる文化への許容度が高まった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	3	5・④・3・2・1	伝える相手がいるため、高い意識でメッセージ作りに取り組んでいた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	4	5・4・③・2・1	マレーシアの調べ学習の際に、インターネット以外にも多様な方法を模索すべきだった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	5	5・④・3・2・1	共同でのスライド、メッセージ作成、スカイプ等での意見交流がその好機となった。
協働する力 (役割分担・協力)		5・④・3・2・1	スライド、メッセージ作成、スカイプ等での意見交流時のグループ活動がその好機となった。
学習を追究する意欲		5・4・③・2・1	講座で学んできたことがらを、もっとテーマに結びつけることが可能だったのではないかと。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・④・3・2・1	得手不得手を克服して、相手に喜んでもらおうという気持ちで取り組むことができた。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	届いた完成版を見て、振り返り文書にも絵に対する感想等を書かせた。